

# 高橋木箱、建材一貫生産

建設・エネルギー・生活・流通・サービス

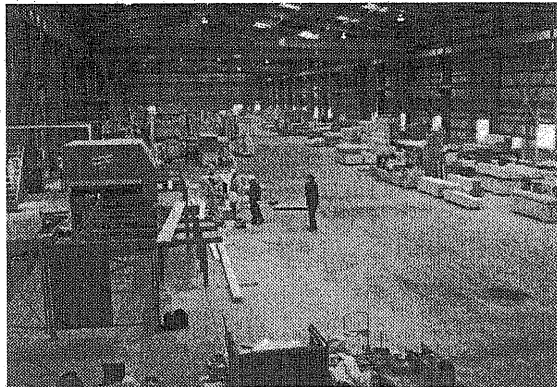
## 鹿嶋(茨城)事業所稼働

### 2×4向け月産1万<sup>2</sup>m<sup>2</sup>体制

高橋木箱製作所(東京都葛飾区、嶋田貫一社長、03・3692・5111)は、木造枠組み壁工法(ツーバイフォー、2×4)建築用のパネルや部材を生産する鹿嶋事業所(茨城県鹿嶋市)を稼働した。茨城県内の既存工場から生産を移管した上で、新たに合板加工機2機を追加。生産能力は月産約1万平方メートル。床や壁材などを一貫体制で生産し、機械化を推進することで生産性と品質の向上を図った。今後はラインの最適化などをさらに進める計画。

新工場は鹿嶋港に隣接して立地し、敷地面積は約1万4800平方メートル。延べ床面積は約4300平方メートル。従業員は現場の

作業員やパネル設計を担当するCAD/CAM担当者など約30人で、工場長には女性を登用した。移設した旧工場の設備



稼働した鹿嶋事業所

に加え、全自動羽柄加工機や屋根の下地材に使う野地板などの加工機を導入。従来に比べて機械化を推進。嶋田社長は「機

械化、自動化によるメリットで勝負していく」としている。

国土交通省の調べによると、ツーバイフォー住宅の2013年の着工戸数は前年比11・7%増の約12万戸と堅調。このため、高橋木箱製作所は必要に応じて増産していく。同社はツーバイフォー事業のほか、精密機器の国内・海外輸送用梱包

事業やソフトウェア開発事業を手がけている。